

アジア大会

4人代表決定

高塚2曹



藤村2曹

鶴巻2尉

岡3尉

レスリング明治杯全日本選抜選手権

6月14・15日、東京・国立代々木競技場第2体育館において平成26年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会が開催された。この大会はシニア世界選手権、アジア大会の日本代表選考会となっている。自衛隊体育学校から29名の選手が出場し、優勝はフリー61kg級高塚紀之2等陸曹、グレコ71kg級、ロンドンオリンピック日本代表藤村義2等陸曹、グレコ80kg級鶴巻幸2等陸尉、グレコ85kg級岡太一3等陸尉の4人。準優勝はフリー97kg級木下駿2等陸曹、グレコ75kg級清水博之3等空曹、グレコ80kg級角雅人陸士長、女子63kg級伊藤友莉香2等陸曹、女子69kg級工藤佳代子3等陸曹の5人。第3位はフリー70kg級野田寛人陸士長、フリー86kg級赤熊弥2等陸曹、フリー125kg級の金澤勝利1等陸士の3人。さらに、今大会のフリー部門優秀選手賞に昨年12月の天皇杯に引き続き高塚2曹が獲得した。高塚は2006年世界選手権で銅メダルを獲得。北京五輪アジア予選では残り数秒で涙を飲み、その後、日本王者から遠ざかっていたが6年ぶりに返り咲いた。その経験を生かし男子フリーのエースになれるという意味を込めての優秀賞と言える。また、最終的にアジア大会代表には高塚2曹、藤村2曹、鶴巻2尉、岡3尉の4人、世界選手権には、グレコ59kg級倉本一真3等陸尉、清水3空曹、角士長の3人が選ばれた。また、自衛隊練馬駐屯地所属の江藤紀友2等陸曹も、世界選手権代表に選ばれた。今回の代表選考は当初協会は選抜優勝者（ブレイオフ実施時は、その勝者）が希望によってはアジア、世界両大会出場が可能と発表していたが、東京、リオを念頭において、若手を中心により多くの選手に国際舞台を経験させようということになった。

原田蘭丸3海尉アジア大会代表!!



水泳ジャパンオープン2014

6月19〜22日の間、東京辰巳国際水泳場においてジャパンオープン2014（50m）が開催された。この大会は第17回アジア大会及び第12回パン・パシフィック選手権代表選考会を兼ねており、4月の日本水泳選手権で決まらなかった種目の最終代表選考会となった。自衛隊体育学校からも12人の選手が出場し、川内勇輝3等海尉が50m自由形で準優勝22秒61、100m自由形でも6位50秒08。岡崎晃一郎3等海尉が50m平泳ぎで3位27秒73。高桑健2等海尉が100mバタフライで5位52秒75、50mバタフライでも7位24秒16（自己新）。宮本陽介2等海曹が1500m自由形で5位15分21秒97、400m自由形で8位3分53秒47。山元啓照2等海曹が1000m自由形で8位50秒23。橋爪久司2等海曹が1000m背泳ぎで7位55秒17。原田蘭丸3等海尉が1000m自由形で4位49秒85と、今回のジャパンオープンでは良い結果とは言えないが、原田は4月の日本水泳時の記録（49秒19）が今大会+日本水泳でランキングを作ると2番目の成績で、国際大会派遣標準記録突破となったことが評価され、アジア大会及びパン・パシフィック選手権代表に選考された。他のワールドカップ等の国際大会代